

## 株式会社 4°Cホールディングス

YONDOSHI HOLDINGS INC.

2022年4月14日

(証券コード: 8008、東証プライム市場)

### 2022年2月期決算概要

- ・ **連結業績は長引く新型コロナウイルス感染症の影響により減収減益も着実に利益を確保。1月6日発表の修正計画通りに着地。**
- ・ **ジュエリー事業は、一時的な婚姻組数の減少によるブライダルジュエリーの苦戦もあり減収減益。**
- ・ **アパレル事業は、デイリーファッション「パレット」が売上高、営業利益ともに過去最高を更新するも、アパレルメーカーがコロナ禍の影響を一部受けことにより増収減益。**
- ・ **2022年2月期の年間配当は83円、11期連続増配の予定。**
- ・ **2023年2月期の連結業績は増収増益となる見通し。**

株式会社4°Cホールディングス（本社：東京都品川区、代表取締役社長 増田英紀）はこの度、2022年2月期決算（2021年3月1日から2022年2月28日まで）を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

#### 1) 連結業績概況

(百万円、%)	2021年2月期	2022年2月期	前期比
売上高	39,449	<b>38,050</b>	△3.5%
営業利益	2,767	<b>1,721</b>	△37.8%
経常利益	3,195	<b>2,293</b>	△28.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,622	<b>1,490</b>	△8.1%

1株当たり当期純利益 69円56銭（前期75円00銭）

期中平均株式数（連結）21,429,623株

のれん償却前営業利益 2022年2月期 2,218百万円 2021年2月期 3,264百万円

流通業界は、コロナ禍による人流抑制の長期化に加え、依然として厳しい雇用・所得環境により消費者マインドは冷え込み、先行き不透明な状況が続きました。このような状況のなか、当社グループは、第6次中期経営計画初年度となる2021年度において、企業価値の向上を目指し、事業ごとの重点課題に取り組んできました。

その結果、当期の売上高は380億50百万円（前期比3.5%減）、営業利益は17億21百万円（前期比37.8%減）、経常利益は22億93百万円（前期比28.2%減）、当期純利益は14億90百万円（前期比8.1%減）となりました。

## ■ジュエリー事業

売上高 184億24百万円（前期比10.7%減）

営業利益 11億30百万円（前期比47.2%減）

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、引き続きコロナ禍の影響を受け、厳しい経営環境となりました。特にブライダルジュエリーにおいては、婚姻組数の一時的な減少により苦戦しました。また、前期に一部特別損失に計上していた人件費の反動増もあり、営業利益減少の要因となりました。一方、ブランド価値向上投資の継続により女性客の自家需要は2桁伸長いたしました。

## ■アパレル事業

売上高 196億26百万円（前期比4.3%増）

営業利益 8億89百万円（前期比0.8%減）

デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、8店舗の新規出店に加え、販促活動や25周年記念催事が奏功したことにより、売上高、営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

アスティグループは、コロナ禍の影響による一時的な需要の低迷はあったものの、商品企画力の強化に引き続き取り組んでまいりました。

## 2) 次期の連結業績見通し

(百万円、%)	2022年2月期 (実績)	2023年2月期 (予想)	前期比
売上高	38,050	41,500	+9.1%
営業利益	1,721	2,700	+56.8%
経常利益	2,293	3,000	+30.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,490	1,800	+20.8%

1株当たり予想当期純利益（通期）84円00銭

期中平均株式数（連結）21,429,623株

のれん償却前営業利益 2023年2月期 3,196百万円 2022年2月期 2,218百万円

当社グループは、第6次中期経営計画の2年目となる2022年度において、経営環境の急激な変化に対し、当社グループの強みを最大限発揮することで、お客様の期待を越える商品・サービスを提供し、更なる成長を目指してまいります。

中核であるジュエリー事業にてブランド価値の更なる向上と収益力強化を図るとともに、アパレル事業にて出店拡大、既存店の成長を推し進めることで、強固な事業ポートフォリオの構築に取り組んでまいります。

また、信頼性の高い企業グループの構築に向け、サステナブル経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することにより、企業価値の更なる向上に取り組んでまいります。

本社：東京都品川区上大崎二丁目19番10号

設立：1950年5月

資本金：24億8,652万円

事業内容：ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業、小売事業

ウェブサイト：<https://yondoshi.co.jp/>

問い合わせ先：(株)4°Cホールディングス 経営企画部

TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-3296

e-mail [ir-yondoshi@yondoshi.co.jp](mailto:ir-yondoshi@yondoshi.co.jp)

以上により、次期（2023年2月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高 415 億円（前期比 9.1%増）、営業利益 27 億円（前期比 56.8%増）、経常利益 30 億円（前期比 30.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 18 億円（前期比 20.8%増）を見込んでおります。また、重要な経営指標として定めている「のれん償却前営業利益」は 31 億 96 百万円（前期比 44.1%増）を見込んでおります。

### 3) 当期の配当

年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 期 実 績	—	40.50	—	40.50	81.00
当 期 予 想	—	41.50	—	41.50	83.00
次 期 予 想	—	41.50	—	41.50	83.00

2022年2月期の期末配当は、1株当たり 41 円 50 銭の予定です。この結果、当期の1株当たりの年間配当は、中間配当と合わせて 2 円増配の 83 円、11 期連続の増配となる予定です。また、株主還元を測る重要な指標として DOE4%以上を目標に掲げており、当期は 4.3%と安定的な株主還元を継続しております。配当性向は 119.3%となっておりますが、これはコロナ禍の影響による一時的な当期純利益の減少に伴うものであり、あくまで一過性であることから、配当方針を継続しております。なお、実質配当性向(※)は 89.5%となっております。

次期の配当は、中間、期末ともに 41 円 50 銭、年間では 83 円を予定しております。

※実質配当性向：年間配当金額/のれん償却前当期純利益

以上

本 社：東京都品川区上大崎二丁目 19 番 10 号  
 設 立：1950 年 5 月  
 資 本 金：24 億 8,652 万円  
 事 業 内 容：ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業、小売事業  
 ウェブサイト：<https://yondoshi.co.jp/>  
 問い合わせ先：(株)4°Cホールディングス 経営企画部  
 TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-3296  
 e-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp